

北諫早小校区の みなさまへ

(全世帯配布)

北諫早小学校区 社会福祉協議会だより vol.27

ほのぼの

令和6年2月20日

発行責任者 堀口春記

編集:広報部会

(080-5203-7828)松本



北諫早小学校区社会福祉協議会
会長 堀口春記

(天満町自治会長)

「心なごみ笑顔咲く」

冬の寒さから、うららかな春の日が待ちどおしいこのごろです。皆様お元気でお過ごしご活躍のことと、お慶び申し上げます。

さて、今年は新年早々、能登半島地震が発生し、今もなお多くの被災者の皆様が大変な生活を余儀なくされています。

心から早い復旧を願つて、お見舞いを申し上げます。

また、私たちの生活に大きな制約を与えてきたコロナ感染症の猛威は、4年ぶりに規制が緩和されました。

これから私たちの地域活動も、一定の対策をとりながらも、手を取り合い以前の活動を思い出しながら、一人ひとりがお互いの立場を尊重して、明るく楽しく笑顔で進めていきたいと思います。

これからも、安心して楽しく暮らすことができるまちづくりに向かって、コミュニケーションを大切にしながら目指していきたいと思います。

皆様のご理解とご協力を、お願ひいたします。

新年を祝つて、ダッシュ!!



（1月14日 福田町新春マラソン大会）

4年ぶりに 「お楽しみ会」を開催!!

(高齢者一人暮らしの集い)

10月26日(木)午前11時~福田町公民館

コロナ禍で順延されていた「お楽しみ会」を、4年ぶりに開催しました。

北諫早小学校区(6町)から約70名が参加され、お食事やおしゃべりにと4年ぶりの再会に、皆さん楽しいひとときを過ごされていました。

圧巻は、恒例となった「各町からの出し物」です。発表された歌や踊り。ひごろ練習されている品のよさに会場からは大きな拍手が贈られていました。

お世話いただきました民生委員をはじめ関係の皆様に、厚くお礼申し上げます。

日の出町
おてもやん
泉町
太極拳
天満町
長崎みれん
金谷町
男の夜明け
日の出町
あれから50年
城見町
春駒ばやし
福田町
令和音頭
〈全員〉
もみじ・ふるさと

【寄付御礼】

北諫早小学校区社会福祉協議会へ、ご寄付をいただきました。

- 蔭山健治様(天満町)亡妻・美智子様の香典返しとして
○松田和代様(福田町) ○城見町町内会様

謹んでお礼申し上げます。ありがとうございました。



※北諫早中学校生徒さんの入賞作品です。今回、特集とさせていただきました。

〈第24回 諫早市中・高生文芸コンクール〉

〔中学生・詩の部〕最優秀賞

こいのぼり

北諫早中学校二年

是成夏穂

魚が海を泳ぐように
こいのぼりは空を泳ぐ

人が長期休暇で休んでいるとき
こいのぼりは自分が一番目立つようにと
しつぽを振るわせる

五月の短い間で
こいのぼりは一年の役目をはたす
そして
その短い間でどう活躍できるか
風と作戦会議を行う

その後
しつぽを振るわせて
めいいっぱい空を泳ぐ
そして

一年の役目をはたして
また暗い所へ帰る
こいのぼりは
来年
もつとたくさん空を泳ぎたいと強く思う

〔中学生・詩の部〕優秀賞

雨の日の流星群

北諫早中学校二年

森 悠莉

雨の日
星なんて見えないはず。

雨の日、車に乗っているときだけ見える
特別な流星群がある。

それを

「雨の日流星群」と私は呼ぶ。
雨によつてもたらされた
無数の小さな星たちが

車の窓、サイドミラーにくつづいて
特別な星空を魅せてくれる。

走る車についた星は

ゆつくりと流れ
互いにくつづいて
大きな一番星になる。
そうして、静かに流れていく。

〔中学生・俳句の部〕最優秀賞

北諫早中学校二年

鴨川景一

〔中学生・短歌の部〕奨励賞

北諫早中学校二年

尾下和花

ゆかた着て
手には真つ赤なりんごあめ
空を見上げて

花火待つ君

〔中学生・隨筆の部〕優秀賞

ゴールはもう、目の前に

北諫早中学校二年

大樹晴也

「オン・ユア・マークス」
「パンツ」

号砲と共に、四百メートルトラックのカーブを選手たちが駆けていく。先頭から三番目につけた僕は、北諫早中学校の代表として、この大きな舞台で戦つていい。
入学式から一週間後、仲の良い友達に誘

われて、僕は陸上競技部の見学に行つた。そこで目にしたものは、先輩たちが軽々とハードルを飛び越える姿。その姿に憧れ、自分もできるようになりたいと思つて入部を決めた。僕は、小学生の頃から自信のある体力を生かして、長距離ランナーとして頑張ることにした。

そうして毎日の練習が始まり、きついジョギングやインターバル走など同じようなメニューが長く続き、やる気も少し失せてきたある日のこと。先生が「今度の日曜日に大会に出るので、出場種目を決めて専門的な練習をしてください。」と言い放った。それから今までの自分の頑張りを確かめる記録会について知り、僕の練習に対する姿勢が変わった。

そして迎えた、記録会当日。入念にアップを行い緊張が解けぬまま出たレースでは、記録はあまり良くなかったものの、仲間に勝つことができてとても嬉しくなった。その喜びをまた感じたり、暑いときでも練習を休むことなく続けてきたおかげか、出したいレースに出て徐々にタイムを縮めていく様になってきた。

そんな調子の良いときに出た千五百メートル走では、最初から攻めてなんと二位になることができた。この勝ちは、どんなにきつくても一生懸命前だけを見て走り続けてきたから得られたもので、いい経験になつたと思う。こうして僕は勝つことの喜びを知つた。これは人と全力でぶつかり合つて戦うことでのしか得られないものであり、日々の練習のモチベーションとなつた。僕の心中には、常に「勝ちたい」という強い気持ちがある。

しかし、僕は勝つことだけを目標に部活動を頑張つているのではない。友達や先輩と一緒に話しながらジョギングすることも

〔中学生・隨筆の部〕優秀賞
八
グ
北諫早中学校二年
本 田 三 結

今年の夏、久しぶりに熊本の祖母の家に帰省しました。昔はよく遊んでもらつたので、とても会いたかったのですが、コロナや私の入学、兄の受験などで、かれこれ四年も会えていませんでした。今年は特別に行けない事情もなく、祖母も「会いたい」と言つたので、私と兄と父で会いに行きました。

朝五時半に起きて支度をし、フェリーと一緒に車で、朝の九時頃ようやく祖母の家に着きました。家は昔と変わらず、綺麗に手入れされた木々、小さい頃寝ていた縁側、嗅ぎ慣れている空気がありました。ああ、

そして、この三日間にさよならする時が
来ました。私は「いつでも長崎に来てよ。」
と言い、祖母を抱きしめました。すると祖母
も強く抱きしめ返して「元気でね。」と言いました。
今、思い返すとハグから始まりハグで終
わった二日間。祖母が何を想い、何を伝え
たいか全ては分かりませんが、私にも分か
る事があります。それは「私たちに幸せにな
なつてほしい」という深い愛情と温かさで
す。

私はきっと、祖母のあのハグを忘れない
だろうと思います。

熊本城や桜町、お墓参りにも行き、二日目も終わりになつてきました。私達は祖母の家へ戻り、あとわずかになつた時間を過ごします。祖母がテレビを見ていると、次々に私、父、兄と皆がテレビに集まつて、黙々とテレビを見ます。会話はしていなかつたにもかかわらず、私はこの時間が好きだと強く思いました。

昨日の楽しい余韻にひたりながら食事をしているとき、祖母が、「将来は、安定した公務員の職に就くのが良いとは思うけど、自分の一番好きな仕事にしなさいね。」と笑顔で言いました。思いのこもった言葉に、胸が温かくなりました。

なつかしい、やつと帰つてきたんだ。わく
わくしていると玄関で祖母が出迎えてくれ
ました。祖母は、私たちをきゅつとハグし
て、「大きくなつたね。」と言いました。

一泊二日の一日目。広大な阿蘇を見なが
ら馬刺しを食べたり、馬を眺めたり、私と
祖母は、歩き疲れたら、二人で支え合いな
がら歩きました。祖母は「たくさんましくなつ
たねえ。身長も越されそう」と、嬉しそう
に言つてくれました。

楽しみの一つなのだ。楽なペースでジヨギングをするときは、その日の出来事などを振り返りながら走っている。みんないいバリルだが、いい友達、先輩に囲まれ、互いに支え合つて頑張つている。

「カラーン・カラーン・カラーン」

ラスト一周を知らせる鐘が鳴る。周囲はペースを上げ、僕も必死に食らいついでいる。三年生が部活動を引退した今、僕ら二年生が最高学年として来年に向けて活動のペースを上げていかなければならぬ時がきた。来年の中総体まであと一年、僕は周りよりももっと努力を重ね、大会で名を残せるようにしていきたい。

ゴールはもう、目の前に。